

## 修了評価の方法

評価基準作成者： 見田 勇二

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(2)介護における尊厳の保持・自立支援</li><li>(3)介護の基本</li><li>(4)介護・福祉サービスの理解と医療の連携</li><li>(5)介護におけるコミュニケーション技術</li><li>(6)老化の理解</li><li>(7)認知症の理解</li><li>(8)障がいの理解</li><li>(9)こころとからだのしくみと生活支援技術</li></ul> <p>2 出題形式</p> <p>択一形式とする。</p> <p>3 出題数</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 修了試験問題 A 択一 32 問</li><li>② 修了試験問題 B 択一 45 問</li></ul> <p>4 合否判定基準</p> <p>70 点以上で合格とする。</p> <p>5 不合格になったときの取扱い</p> <p>担当講師による補習のうえ、当日にて再試験を実施する。 (当日補習費用：無料、再評価費用：無料)</p> <p>ただし、当日の再評価の試験の回数は最大2回までとする。</p> <p>当日に合格出来なかった場合は、後日当社指定日時にて再試験を実施 (補習費用：2,500 円、再評価費用：1,000 円)</p>
------------	---